

# 病院新聞

発行所 病院新聞社  
東京都千代田区平河町2-4-1  
日本都市センター会館 12F 〒102-0093  
TEL 03-3265-9997  
FAX 03-3265-2937  
http://www.byoinshinbun.com  
郵便振替口座 00170-7-59445

HITACHI  
Inspire the Next

Innovating Healthcare,  
Embracing the Future

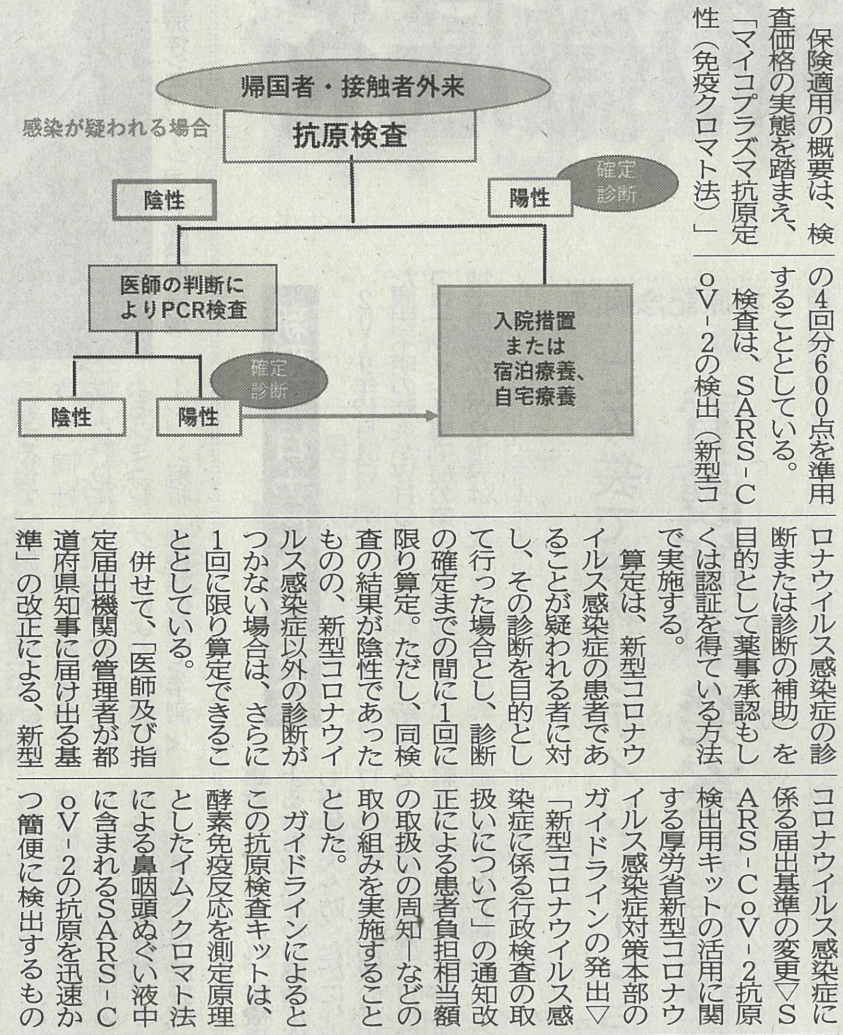
誰もが安心・安全に暮らせる、  
笑顔あふれる社会へ。  
一人ひとりに最適な  
ヘルスケアサービスの実現に  
日立はイノベーションで貢献します。

株式会社日立製作所  
www.hitachi.co.jp/healthcare

## 中医協 抗原検査を保険適用

### 新型コロナ陽性者を早期に検知

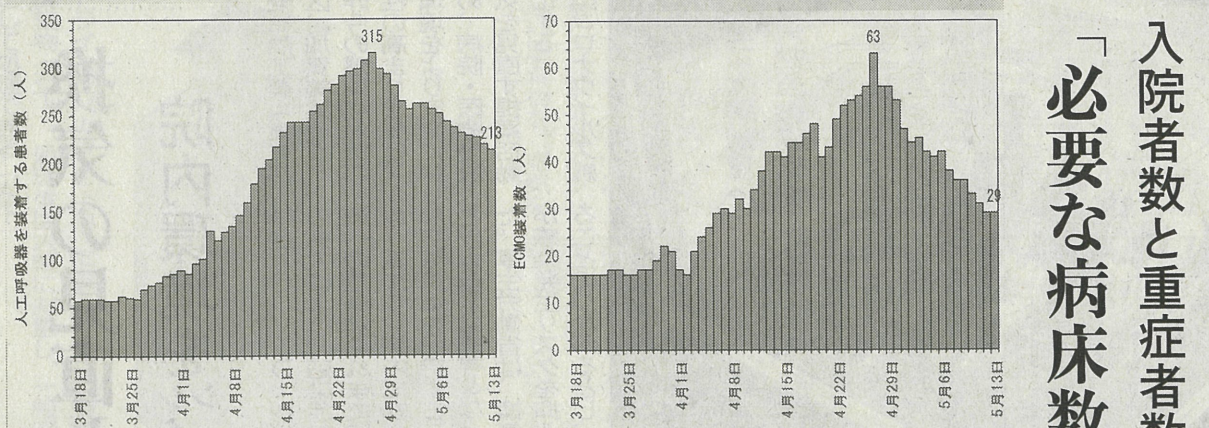
### 検査キット供給対象拡大へ 帰国者・接触者外来と特定機能病院から



中央社会保険医療協議会(小塩隆士会長)が13日にオンラインで開催され、新型コロナウイルス感染症の迅速診断検査薬「抗原検査キット」が同日に薬事承認されたことを踏まえ、同日から「SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)抗原検査」の保険適用が了承された。抗原検査キットの使用対象となる患者は「帰国者・接触者外来」の患者と、医師が新型コロナウイルス感染症を疑う症状がある患者と判断した者に対して、必要性を認められた時とし、陽性者を早期に検知するため感染者数の多い都道府県の帰国者・接触者外来および全国の特定機能病院から供給を開始、生産量の拡大状況を確認しながら対象地域およびPCR検査を実施できる医療機関を中心に供給対象を拡大していく。

検査キットによる検査の用途および使用にあたっては、PCR検査と比較して一定以上のウイルス量が検出される必要があること、PCR検査との一貫性に関するエビデンスが十分でないことから適さないとしている。クラスターが発生している医療機関、施設等の濃厚接触者等に対する検査については、感染の疑いが高い場合はPCR検査と抗原検査を併用し、その

【全国で人工呼吸器を要する確定患者数の推移】 【全国でECMO装着の患者数の推移】 専門家会議



入院者数と重症者数が減少  
「必要な病床数は確保」

政府の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(座長・脇田隆字・国立感染症研究所長)は14日、新型コロナウイルス感染症患者のうち入院者数、重症者数ともに、5月7日時点で「減少傾向が確認された」として、医療提供体制について「入院を必要としている患者数に対しては病床数が確保されている」との現状認識を公表した。この日開かれた同会議で取りまとめられた「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」に盛り込まれた。

新型コロナウイルス感染症患者の療養状況などに関する調査結果で、4月28日時点で、入院者数5627人に対し、ICUに入院しているか、人工呼吸器またはECMOを使用している重症者数は3081人(6.8%)だった。5月7日時点では入院者数4449人に対し、重症者数は341人(7.7%)だった。

同「分析・提言」の中では、重症者のうち、日本集中治療医学会の日本COVID-19対策ECMOnetの集計による、人工呼吸器を要する確定患者数の推移とECMOを装着している患者数の推移が示されている(図表)。

同「分析・提言」では、緊急事態措置を解除する際には、感染状況、医療状況、検査体制の3点を総合的に判断することが必要としている。

医療状況では「3月下旬以降に起こったような感染者数の拡大が生じたとしても、普段なら救える命が救えなくなるような医療崩壊を生じさせない体制が確保されていることが不可欠」との考え

検査体制では、検査件数の一定数以上の担保や陽性検体の割合が「著しく高いこと」を踏まえ、都道府県別にPCR等検査の動向を見ることが必要としている。

医療提供体制の確保や検査体制の構築では、都道府県が果たす役割が大きいことから、国は都道府県との連携強化に努めるよう提言している。

今後重症患者数や入院患者数の推移などを見守り、ピーク時の水準に近づいた場合、医療提供体制の崩壊を未然に防止することが重要であることから、緊急事態宣言の対応

検査体制では、検査件数の一定数以上の担保や陽性検体の割合が「著しく高いこと」を踏まえ、都道府県別にPCR等検査の動向を見ることが必要としている。

医療提供体制の確保や検査体制の構築では、都道府県が果たす役割が大きいことから、国は都道府県との連携強化に努めるよう提言している。

今後重症患者数や入院患者数の推移などを見守り、ピーク時の水準に近づいた場合、医療提供体制の崩壊を未然に防止することが重要であることから、緊急事態宣言の対応

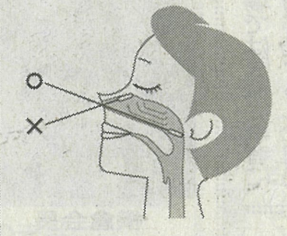
緊急特集②～⑥  
「新型コロナに負けるな」  
新型コロナウイルス感染症の収束に向けた闘いは長期戦の様相を呈してきた。そこで本紙は「新型コロナに負けるな」と題して緊急特集を企画。医療従事者や患者を守り、感染拡大を防止するための行政や団体の動向、病院の取組み、企業による感染防止対策製品やシステムを紹介する。

中医協 抗原検査を保険適用①  
ゾルゲンスマが1.7億円で保険適用①

感染症は、感染症法で「指定感染症」として定められており、同キットにより新型コロナウイルス感染症患者と診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届ける必要があるとしている。

同キットによる検査の用途および使用にあたっては、PCR検査と比較して一定以上のウイルス量が検出される必要があること、PCR検査との一貫性に関するエビデンスが十分でないことから適さないとしている。

クラスターが発生している医療機関、施設等の濃厚接触者等に対する検査については、感染の疑いが高い場合はPCR検査と抗原検査を併用し、その



「ゾルゲンスマ」が国内最高の約1億707万7222円で保険適用された。13日の中医協総会で承認された。算定方式は類似薬効比較方式Ⅰ。比較薬はス

